

平成21年度再評価委員会

路線名：一般県道 神埼北茂安線
(江迎～中津隈工区)


事業名：地域自立・活性化交付金事業

(着手より10年経過のため再評価)

事業目的



歩道未整備で
歩行者が危険



幅員狭小のため
車両交通に支障



バイパス(歩道含む)整備により



交通の円滑化、通学者の安全性確保

事業概要

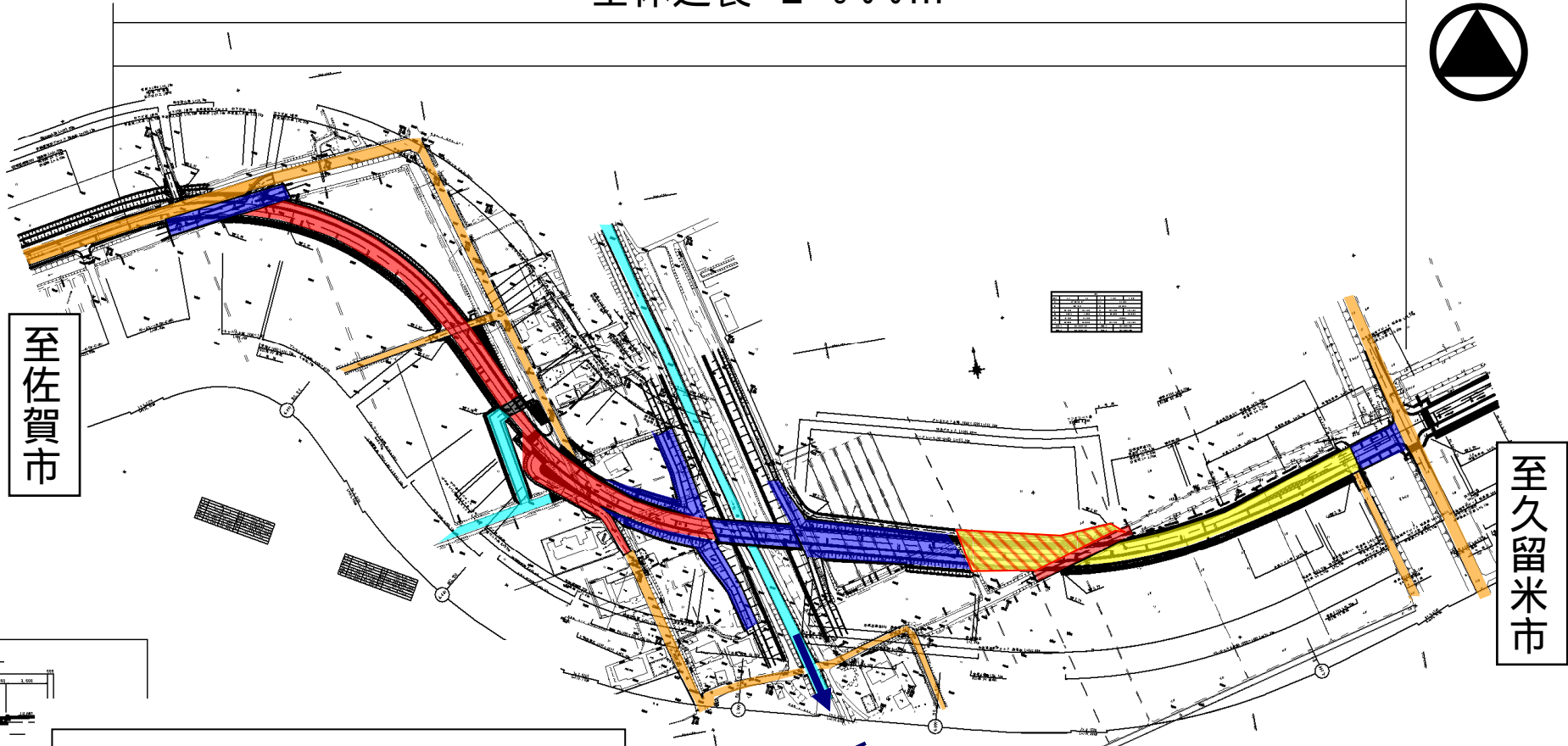
- 全体事業費：9.2億円
- 工期：平成12年度～平成22年度(予定)
- 全体延長：L = 800m
- 事業内容：改良工 L = 800m
用地買収 13,242m²、家屋補償 2戸

事業の進捗状況

	平成20年度まで	平成21年度	平成22年度以降
事業費(億円)	7.5	1.5	0.2
進捗率(%)	81.5	97.8	100.0
用地進捗率(%)	89.1	100.0	100.0

一般県道 神埼北茂安線 平面図

全体延長 L=800m



凡例

青

平成20年度まで

赤

平成21年度施工箇所

黄

次年度施工箇所

事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 交通量の増加

H 9 2,972台 / 日 (基準)

H11 3,795台 / 日 (1.28)

H17 4,360台 / 日 (1.47)

- 本路線は、交通量が増加傾向にあり、前牟田工区の整備が年内に完了することから、更なる交通量の増加が予想される。

費用対効果の要因の変化

- 事業採択時と比較して大きな要因の変化は見られない。

$$\text{費用便益比 (B / C)} = 13.3 / 11.1 = 1.2$$

- 【便益】

走行時間短縮便益	=	23.0億円
走行経費縮小便益	=	-6.8億円
交通事故減少便益	=	-2.9億円
合計		13.3億円

- 【費用】

事業費	=	10.8億円
維持管理費	=	0.3億円
合計		11.1億円

コスト縮減や代替案等の可能性

(コスト縮減)

- 再生資材の利用促進を図っている。
- 工事で発生する残土を盛土等に流用する。

(代替案の検討)

- 特になし

対応方針(事業課案)

- 事業の必要性に変化が無い。
- 現在も、依然として交通の円滑化と交通安全の確保が出来ていないことから、引き続き事業を継続したい。